教科	数学	科目	数学A	年次	2～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		高校数学A (実教出版)					

学習目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指します。</p> <p>(1) 場合の数と確率、図形の性質についての基本的な概念を理解させ、基礎的な技能の習熟を図ります。</p> <p>(2) 中学校で学習した内容について、確実な習得を図ります。</p> <p>(3) 事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てます。</p>	
評価の観点	① 知識・技能	場合の数と確率、図形の性質における基本的な概念、原理・法則、用語・記号など基礎的な知識を理解し、事象を数学的に考察し、表現し処理する能力を身に付けている。
	② 思考力・判断力・表現力	場合の数と確率、図形の性質において、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身に付けている。
	③ 学びに向かう力・人間性等	数学的活動を通して、場合の数と確率、図形の性質における考え方に興味を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
評価の方法	定期考査に加え、提出物(ノート、学習プリント等)、小テストの成績などで総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とし、授業態度や参加姿勢に加え、思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 場合の数	<ul style="list-style-type: none"> 集合の表し方、用語、記号を学び、部分集合、全体集合と補集合などの知識を通じて集合の考え方を理解します。 和の法則や積の法則について具体例を用いて理解し、場合の数を効率よく求める学習をします。 順列や組合せの意味を理解し、公式を用いて基本的な順列や組合せの総数を求めることができるようにします。 順列や組合せの考え方をいろいろな場面に利用して、条件の付いた順列や組合せの総数を求めることができるようにします。
	2 確率	<ul style="list-style-type: none"> 試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、基本的な確率を求めることができるようにします。 余事象を利用した確率について学習します。 独立な試行の確率が積の法則により求められることを理解し、簡単な独立な試行の確率を求めることができるようにします。 反復試行について理解し、簡単な場合の反復試行の確率の計算に習熟します。 期待値について学習し、確率の有用性を再認識します。
後期	3 三角形の性質	<ul style="list-style-type: none"> 中学校で学んだ三角形の相似や角について確認します。 角の2等分線と線分の比について学習し、辺の長さを求められるようにします。 いろいろな図形の性質を理解しながら三角形の外心や内心、重心の存在について知り、図形への関心を高めます。 外心や内心、重心の性質や公式を用いて、辺の長さや角の大きさを求めることができるようにします。
	4 円の性質	<ul style="list-style-type: none"> 中学校で学んだ円周角の定理について確認します。 円に内接する四角形について考察を深め、角の大きさを求めることができるようにします。 いろいろな図形の性質を使って円の接線について理解を深めます。 方べきの定理について学習し、それを使って線分の長さを求められるようにします。